

SHEET12 貨幣供給と貨幣需要

レベル1

R2 第10問

貨幣供給に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 家計が現金の保有性向を高め、現金・預金比率が大きくなると、貨幣乗数は大きくなる。
- b 家計が現金の保有性向を高め、現金・預金比率が大きくなると、貨幣乗数は小さくなる。
- c 日本銀行による債券の売りオペレーションは、マネタリー・ベースを増加させる。
- d 日本銀行による債券の買いオペレーションは、マネタリー・ベースを増加させる。

〔解答群〕

- ア aとc
- イ aとd
- ウ bとc
- エ bとd

R1 第6問

日本経済は、日本銀行による金融政策から影響を受けている。貨幣に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 中央銀行が買いオペを実施すると、マネタリー・ベースが増加する。
- b マネー・ストックM1は、現金通貨、預金通貨、準通貨、譲渡性預金の合計である。
- c マネー・ストックをマネタリー・ベースで除した値は「信用乗数」と呼ばれる。
- d 準備預金が増えると、信用乗数は大きくなる。

〔解答群〕

- ア aとc      イ aとd      ウ bとc      エ bとd

レベル2

R3 第7問

貨幣乗数に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a マネー・ストックが1単位増えると、マネタリー・ベースはその貨幣乗数倍だけ増加する。
- b 金融機関の準備率が高くなると、貨幣乗数は小さくなる。
- c 現金よりも預金で通貨を保有する傾向が高まると、貨幣乗数は小さくなり、マネタリー・ベースの増加に伴うマネー・ストックの増加の程度も小さくなる。
- d 中央銀行は、マネタリー・ベースのコントロールを通じて、マネー・ストックを調整する。

〔解答群〕

- ア aとb
- イ aとc
- ウ bとc
- エ bとd
- オ cとd

### H29 第7問

2016年9月、日本銀行は金融緩和強化のための新しい枠組みとして「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入した。この枠組みでは、「消費者物価上昇率の実績値が安定的に2%を超えるまで、マネタリーベースの拡大方針を継続する」ととされている。

マネタリーベースに関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a マネタリーベースは、金融部門から経済全体に供給される通貨の総量である。
- b マネタリーベースは、日本銀行券発行高、貨幣流通高、日銀当座預金の合計である。
- c 日本銀行による買いオペレーションの実施は、マネタリーベースを増加させる。
- d 日本銀行によるドル買い・円売りの外国為替市場介入は、マネタリーベースを減少させる。

[解答群]

ア aとc    イ aとd    ウ bとc    エ bとd

### H25 第6問

資産は貨幣と債券の2つから構成されており、貨幣に利子は付かないと想定する。

貨幣供給量を増加させた場合、これが企業の設備投資や家計の住宅投資に与える影響に関する説明として、以下の(1)と(2)において、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。ただし、資産市場ではワルラス法則が成立しているものとする。

(1) 債券市場では、

- a 超過需要が発生し、債券価格が上昇することで、利子率が低下する。
- b 超過供給が発生し、債券価格が下落することで、利子率が上昇する。

(2) (1)における利子率の変化により、

- c 債券から貨幣への需要シフトが起こり、また投資を行う際に必要な資金調達コストが低下するため、投資が促進される。
- d 貨幣から債券への需要シフトが起こり、また投資を行う際に必要な資金調達コストが上昇するため、投資が減退する。

[解答群]

ア (1): a (2): c    イ (1): a (2): d    ウ (1): b (2): c    エ (1): b (2): d

### H24 第8問（設問1,2）

金融政策およびマネーサプライ(マネーストック)に関する下記の設問に答えよ。

(設問1)

金融政策に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 貨幣の供給メカニズムで中央銀行が直接的に操作するのは、マネタリーベース(ハイパワードマネー)というよりも、マネーサプライ(マネーストック)である。
- b 市中銀行の保有する現金を分子、預金を分母とする比率が上昇すると、信用乗数(貨幣乗数)は上昇する。
- c 市中銀行から中央銀行への預け金を分子、市中銀行の保有する預金を分母とする比率が上昇すると、信用乗数(貨幣乗数)は低下する。
- d 信用乗数(貨幣乗数)は、分子をマネーサプライ(マネーストック)、分母をマネタリーベース(ハイパワードマネー)として算出される比率のことである。

[解答群]

ア aとb    イ aとd    ウ bとc    エ cとd

(設問2)

日本銀行が公表しているマネーサプライ統計は、2008年に、マネースtock統計へと見直しが行われた。この見直しに関する説明として、最も適切なものはどれか。

- ア 証券会社が保有する現金通貨が、M1に含まれることになった。
- イ ゆうちょ銀行への要求払預金が、M1に含まれることになった。
- ウ 預金取扱機関が保有する現金通貨が、M1に含まれることになった。
- エ 預金取扱機関への定期性預金が、M1に含まれることになった。

解答

SHEET12 貨幣供給と貨幣需要			
レベル1	R2	10	エ
	R1	6	ア
レベル2	R3	7	エ
	H29	7	ウ
	H25	6	ア
	H24	8(1)	エ
	H24	8(2)	イ